

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会報告書

平成24年3月29日

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会

平成24年3月29日

青森県教育委員会

教育長 橋本 都 殿

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会

委員長 高松 彰

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会の協議内容について（報告）

本統合準備委員会で、これまで協議した内容を、次のようにとりまとめましたので報告
します。

1. 統合準備委員会の設置趣旨及び協議について

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会（以下「統合準備委員会」という。）は、平成20年に策定した県立高等学校教育改革第3次実施計画において、平成25年度に県立南部工業高等学校（以下「南部工業高校」という。）が募集停止となり、平成27年度に県立八戸工業高等学校（以下「八戸工業高校」という。）と統合となることから、募集停止となる南部工業高校の教育活動の充実や統合先となる八戸工業高校との円滑な連携を図るために、両校の教職員、後援会等学校関係団体の代表者、地域の関係者を委員として設置したものです。

以下は、統合準備委員会で協議を行った内容です。

2. 統合準備委員会での協議事項及び対応方法について

募集停止となる南部工業高校の教育活動の充実を図ること

（1）八戸工業高校との協議事項

協議事項	対応方法
書類等の取扱、事務処理、施設・設備利活用について、今後、協議を進めたい。	統合に向けた書類等の取扱、事務処理については両校の担当者間で協議を進め遺漏のないよう対応します。 なお、万全を期すためにも、統合時には両校の事務担当者が配置されるなどの配慮をお願いします。
南部工業高校の生徒が、卒業後、各種証明書の発行手続き、記念資料の閲覧及び貸し出し方法、同窓会への連絡などで困らないように、県教育委員会HPと八戸工業高校HPでの周知を希望する。	平成23年4月より学校HPをリニューアルしている。現在、学校情報・同窓会情報の適切かつ効果的な発信に務めており、今後は南部工業高校卒業生への情報発信にも十分配慮し準備します。
南部工業高校卒業生が教育実習を希望する場合の受け入れについて、今後、協議を進めたい。	例年5月末から2週間程度4名から5名の教育実習生を受け入れており、学生の専門教科に応じ、学科・担当教科・HRを検討して実施している。今後は南部工業高校卒業生も教育実習生として受け入れるよう準備します。

（2）県教育委員会に対する要望事項

協議事項	対応方法
教育内容の一層の充実と向上を図る教員配置を希望する。	25・26年度の学年が欠けた場合の教育課程等を想定した教員配置を検討してもらい、各年度の人事協議の際に伺います。 なお、教員配置については、要望内容及び県立学校職員人事異動方針を踏まえ、学校の実情等を勘案しながら十分検討します。

<p>統合当初の混乱を最小限度に抑えるため、八戸工業高校に南部工業高校教職員、南部工業高校OB教員の配置を希望する。</p>	<p>教職員配置については、両校の要望内容及び県立学校職員人事異動方針を踏まえ、両校の実情等を勘案しながら十分検討します。</p>
<p>南部工業高校の生徒が、卒業後、各種証明書の発行手続き、記念資料の閲覧及び貸し出し方法、同窓会への連絡などで困らないように、県教育委員会HPと八戸工業高校HPでの周知を希望する。</p>	<p>27年度に県教育委員会HPに南部工業高校卒業生向けのページを作成し、証明書発行手続き等に係る連絡先を掲載します。</p>
<p>南部工業高校卒業生が教育実習を希望する場合の受け入れについて、今後、協議を進めたい。</p>	<p>南部工業高校の卒業生が教育実習を希望する場合の受け入れ方法については、両校の担当者が共通理解を図れるよう仕組み作りをします。 また、県教育委員会HPに南部工業高校卒業生向けのページを作成し、教育実習を希望する場合の連絡先を周知します。 なお、教育実習生の希望者が多数となり、八戸工業高校で教育実習生を受け入れできない場合が生じれば、関係する県立高等学校長に受け入れを要請します。</p>
<p>今までに閉校・統合した学校を基に、募集停止後（2年間）の事務処理等の基本計画の情報提供を希望する。</p>	<p>他校の実際の進捗状況を確認した上で、適宜、情報提供します。</p>
<p>今後の施設・設備等の有効活用を検討するにあたり、特に物品については数も種類も多いことから、基本的な考え方や統合までのタイムスケジュールを示してもらいたい。</p>	<p>他校の実際の進捗状況を確認した上で、適宜、情報提供します。</p>

統合先となる八戸工業高校との円滑な連携を図ること

(1) 南部工業高校の特色ある教育活動の引継ぎについて

協議事項	対応方法
<p>建築に関する知識・技能を学習できる学科・コースの設定を希望する。</p>	<p>既存学科内に建築に関する知識・技能を学習できるコース（学習内容は2級建築士や2級施工管理技士資格取得学歴要件を満たす）の設定を検討します。</p>
<p>テクノボランティア（高齢者住宅の補修工事）、美化ボランティア、ものづくりコンテスト（木材加工部門）の取り組みが継続されることを希望する。</p>	<p>学習した工業技術を活用したボランティア活動「テクノボランティア」は、工業高校の特色を活かした取組として有効であることから、本校が立地する地域のニーズを把握し、何が出来るか検討します。 また、「ものづくりコンテスト」では、既に機械・電気・土木部門への参加はしており、今後、建築に関する学習の深度に応じて木材加工部門へも取り組ませます。</p>

(2) 南部工業高校の沿革に係る資料等の引継ぎ及び八戸工業高校での保存・管理について

協議事項	対応方法
<p>沿革に係る資料等を南部工業高校同窓生が閲覧し、必要に応じて活用できるような保管、管理そして展示可能なスペースの確保を希望する。</p>	<p>今年度実施しているB棟改修工事にあわせ、多目的教室2教室を同窓会記念室（八戸工業・南部工業）と渉外部室に転用します。同窓会記念室には、資料保管及び閲覧用の書庫を配置し、必要に応じて展示スペースとしても活用することとします。両校の貴重な資料を管理することから、渉外部室を隣接させ、室内に小会議スペースを確保し、両校の同窓生の会議場所としての活用を図ります。</p>
<p>証明書発行、再発行が円滑に行われるように、今後、協議を進めたい。</p>	<p>統合に向けた書類等の取扱、事務処理については両校の担当者間で協議を進め遺漏のないよう対応します。 なお、万全を期すためにも、統合時には両校の事務担当者が配置されるなどの配慮をお願いします。</p>
<p>建築士試験の受験資格要件確認申請手続き（4年に一度）と指定科目取得単位証明の発行について、今後、協議を進めたい。</p>	<p>受験資格要件を満たす教育課程のコース設定とともに、確認申請手続きを行います。 また、南部工業高校卒業生に対する証明書発行は遺漏がないよう業務を引き継ぎます。</p>

(3) 南部工業高校の施設、設備の有効活用について（南部工業高校におけるメモリアル的な施設、設備、物品についての意見集約）

協議事項	対応方法
<p>八戸工業高校が必要とする施設・設備等の選択と移動計画について、今後、協議を進めたい。</p>	<p>建築に関する学習に必要な設備は、南部工業高校から本校産振棟に移設することで考えています。 また、メモリアルな物品については、南部工業高校と協議し、同窓会記念室に展示・保管することとします。</p>
<p>校門柱（校名プレートの付いた状態で）を校門と南工坂との間の敷地に南部工業高校生が築立った証として保存を希望する。</p>	<p>学校から提出された略図、写真により、特定された要望箇所について、今後の跡地利用の検討の際には、教職員課で要望していきます。 今後、要望があった財産の管理方法等については、学校側と事務手続きを進めていきます。</p>

(4) 南部工業高校の関係団体の今後の在り方について

協議事項	対応方法
<p>同窓会の在り方については、まだ決定できない状況であるが、今後の方向付けを検討するにあたり、八戸工業高校の同窓会事務局と情報交換を図りたい。</p>	<p>八戸工業高校同窓会としても南部工業高校同窓会事務局との情報交換を図り、役員会・総会で、今後の在り方について検討を進めていきます。</p>

3 各委員からの主な要望・意見等について

南部工業高校の特色ある教育活動の引継ぎとして、是非、建築に関わるもの、木材加工に関わるものを何らかの形で残してもらいたい。

八戸工業高校で建築に関わる学科・コースの設定を検討する場合には、卒業後に2級建築士の受験につながるような教育課程を検討してもらいたい。

八戸工業高校には、建築コースを検討していただき大変感謝している。今後、人事配置、施設・設備、教材等、多くの面で検討が必要であると思うが、是非実現できるよう進めて欲しい。

八戸工業高校で建築コースを設置し、南部工業高校建築科での資格取得を維持するためには、教員配置が一番の問題となると思われるので、県教育委員会には十分配慮してもらいたい。

八戸工業高校に建築コースを設置する場合、2学年からの実習では、実習機材等が揃っているかということが大きな課題である。生徒が実社会に出て、すぐに役立つような技術を取得するためにも、機材の充実ということを考える必要がある。

協議を通して、南部工業高校が継承してきた伝統や建築科への思いなど、地域の方々の思いが強く胸に伝わってきている。

南部工業高校の募集停止により、三八地区では工業高校が1校となることから、八戸工業高校で行うボランティアの対象は、八戸市だけではなく、三八地区全体に目を向けて進めて欲しい。

今後の八戸工業高校でのボランティア活動は、地域に愛されている南部工業高校の伝統を引き継ぐような形で、大いにやって欲しい。

統合にあたっては、八戸工業高校の教員や事務職員の配置について配慮してもらいたい。

統合にあたっては、これまで南部工業高校で培って来た就職先へも配慮してもらいたい。

ホームページでの情報発信では、携帯電話などでも利用できるような活用方法を更に進めて欲しい。

情報発信については、ホームページだけではなく、他の対応も検討する必要がある。南部工業高校同窓会の役員会では、八戸工業高校同窓会で支部活動というのがあれば、南部工業支部というのもあっても良いのではないかという声もある。

今後、南部工業高校の同窓会との在り方については、南部工業高校からの話に対して、前向きに検討していきたいと思っている。

付 属 資 料

- 1 南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会設置要綱
- 2 南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会委員名簿
- 3 南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会の協議経過

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会設置要綱

（設 置）

第1 募集停止となる青森県立南部工業高等学校（以下「南部工業高校」という。）の教育活動の充実や、統合先となる青森県立八戸工業高等学校（以下「八戸工業高校」という。）との円滑な連携を図るため、南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会（以下「統合準備委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2 統合準備委員会は、統合に関する課題について協議、検討し、青森県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

（組 織）

第3 統合準備委員会は、20人以内の委員で組織する。

2 委員は、別記1に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

3 必要に応じて、両校の校長が協議の上、両校の教員による準備部会を設置することができる。

（任 期）

第4 委員の任期は、委嘱した日から平成24年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長等）

第5 統合準備委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長は、統合準備委員会を主宰する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

（会 議）

第6 統合準備委員会の会議は、委員長が招集する。

2 統合準備委員会の会議の進行役は、別記1の委員の5に該当する委員が務めるものとする。

（庶 務）

第7 統合準備委員会に係る庶務は、青森県教育庁教職員課（以下「教職員課」という。）及び両校において処理する。

（その他）

第8 この要綱に定めるもののほか、統合準備委員会の運営に関し必要な事項は、別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成22年6月1日から施行する。

別記 1

統合準備委員会

委員長	八戸工業高校の校長の職にある者
副委員長	南部工業高校の校長の職にある者
委員	<ol style="list-style-type: none">1 南部工業高校及び八戸工業高校の教頭及び事務長の職にある者2 南部工業高校及び八戸工業高校の教職員で校長が特に必要と認める者3 南部工業高校及び八戸工業高校のPTA、同窓会、後援会の各団体の代表として両校の校長が推薦した者4 南部工業高校及び八戸工業高校の地域の関係者の代表として両校の校長が推薦した者5 教職員課の課長代理の職にある者

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会委員名簿

	区 分	氏 名	備 考
南部工業高校			
1	学校職員 校長	野 呂 昌 文	副委員長 平成22年度は、佐藤 義光氏
2	学校職員 教頭	鈴 木 雅 博	平成22年度は、野村 卓司氏
3	学校職員 事務長	山 内 磨梨子	
4	学校職員 教務主任	大 橋 豪	
5	学校職員 設備システム科科長	若佐谷 政 人	
6	後援会代表 会長	西 舘 隆	
7	同窓会代表 副会長	浅 水 修	
8	P T A代表 会長	佐々木 正 和	
9	地域の関係者	宮 本 佳 悦	
八戸工業高校			
10	学校職員 校長	高 松 彰	委員長
11	学校職員 教頭	高 橋 和 雄	
12	学校職員 事務長	中 田 敏 彦	
13	学校職員 教務主任	福 井 英 明	
14	学校職員 電気科主任	中 居 隆 悦	
15	後援会代表 理事長	川 村 博 志	
16	同窓会代表 会長	北 向 幸 吉	
17	P T A代表 会長	坂 内 利 行	
18	地域の関係者	中 村 正 明	
教職員課			
19	教育庁職員 課長代理	佐 藤 禎 人	進行 平成22年度は、安田 正司氏

南部工業高校・八戸工業高校統合準備委員会の協議経過

【第1回】

開催日：平成22年 9月 6日（月）

場 所：県立南部工業高等学校音楽室

出席者：委員19名及び事務局4名

議 事：（1）統合準備委員会の設置趣旨の説明

統合準備委員会の設置経緯、設置趣旨等を説明し、今後、協議していくための共通理解を図った。

（2）統合準備委員会の協議事項の説明

統合準備委員会で想定される協議内容を説明し、大枠となる協議事項の設定について了解を得た。了解を得た協議事項は、次のとおりである。

八戸工業高校における新たな教育理念等の構築について

南部工業高校の特色ある教育活動の引継ぎについて

南部工業高校の沿革に係る資料等の引継ぎ及び八戸工業高校での保存・管理について

南部工業高校の施設、設備の有効活用について

南部工業高校の関係団体の今後の在り方について

【第2回】

開催日：平成22年12月14日（火）

場 所：県立八戸工業高等学校会議室

出席者：委員19名及び事務局4名

議 事：統合準備委員会の協議事項の説明

南部工業高校から、第1回で確認した協議事項に基づく、具体的な協議項目を説明してもらい、今後、対応を検討するため内容等の確認を行った。

【第3回】

開催日：平成23年 5月30日（月）

場 所：県立南部工業高等学校音楽室

出席者：委員18名及び事務局6名（川村委員欠席）

議 事：統合準備委員会での協議事項に対する対応方法の説明

南部工業高校から出された協議項目に対して、八戸工業高校及び県教育委員会で検討した対応方法を説明し、その内容について確認を行った。

【第4回】

開催日：平成23年10月27日（木）

場 所：県立八戸工業高等学校会議室

出席者：委員17名及び事務局5名（浅水委員、坂内委員欠席）

議 事：統合準備委員会での協議事項に対する対応方法の説明

第3回の統合準備委員会で説明した対応方法について、修正及び追加した内容を説明し、その内容について確認を行った。

【第5回】

開催日：平成24年 2月14日（火）

場 所：県立南部工業高等学校音楽室

出席者：委員16名及び事務局4名（浅水委員、佐々木委員、北向委員欠席）

議 事：（1）統合準備委員会での協議事項に対する対応方法の説明

第4回の統合準備委員会で説明した対応方法に係る検討状況等について説明し、状況等を確認した。

（2）報告書案の確認

報告書案を説明し、その内容について確認を行った。

（3）統合準備委員会での協議について確認

これまでの統合準備委員会での協議について、各委員の感想等を確認した。